大阪男女いきいき財団 NEWS
ニュース

vol.50
2026.6



▲女性みらいミーティング2026にて

2025年度をふりかえって

(一財)大阪男女いきいき財団
理事兼事務局次長　　沢田 薫

2025年は大阪・関西万博が開催され、世界中から2900万人を超える方が大阪に来られました。中でもウーマンズパビリオンでは、「ともに生き、ともに輝く未来へ」というテーマを掲げ、より公平な未来に向けて、分野を超えた女性のエンパワーメントの重要性や女性のリーダーシップに関して多彩なイベントが繰り広げられました。

当財団も８月には企業の管理職女性たちのグループとの共催による「Women Empowerment Summit 2025」を開催しました。10月には、大阪市地域女性団体協議会事務局として万博内で民踊「大阪元気音頭」をお手伝いし、世界各地からの来場者も含めて200名を超える盛り上がりとなりました。万博という非日常の祭りの後で、日常の活動を着実に進めることが重要で尊いことだと改めて実感しました。

９月には、新潟で開催された「ぼうさいこくたい2025」で「広げよう!女性の防災ネットワーク」をテーマに内閣府男女共同参画局と共催でセッションを開催しました。全国の女性防災リーダーのネットワーク構築に向けて、女性たちが地域や組織の枠を越えて「つながる」ことを目的としたものです。各地から約100名が参加し、会場は熱気に包まれました。

こうしたシスターフッドで紡いだ2025年は、阪神・淡路大震災の発生から丸30年を迎えた年でもありました。

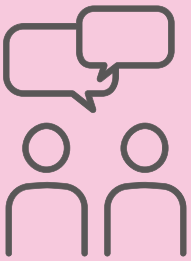
世界各地では、紛争や災害が頻発しています。 平和の根底に必要なのは、基本的人権の保障です。女性や子ども、障がい者、高齢者、外国にルーツのある人などは、保護される存在だけでなく、日頃から地域自治に関わり、平和を構築していく主体です。私たちの未来を安全・安心で豊かなものにしていくために、これからもシスターフッドの輪を広げながら、男女共同参画の理念を共有する男性たちとも協働してまいります。

What's 大阪男女いきいき財団 - Osaka Gender-Equal Community Foundation -

ダイバーシティ（多様性）の時代。私たちがめざすのは、地域の皆さん、企業、学校、行政機関などと連携し、誰もがイキイキ暮らせる社会を創ることです。大阪市立男女共同参画センター（クレオ大阪）5館をはじめとする公共施設の管理・運営や、悩み相談、研修・啓発事業などを通じて、すてきな未来づくりのお手伝いをしています。

数字で見る2025年

学習機会の提供



約 **530** 事業　約 **22,910** 人

企業や団体、地域などでの研修実施回数／受講人数

190事業　**6,590**人

クレオ大阪以外の場所での研修

オンラインでの学習機会の提供

26 事業　**1,220**人

オンラインセミナー、見逃し配信など

相談事業



約 **21,540** 件

女性の悩み相談　約**13,150**件

子育て相談　約 **4,630** 件

男性の悩み相談　約 **350** 件

SNSでの相談　約 **2,270** 件

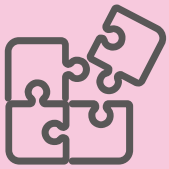
一時保育関連の事業利用者数



約 **610** 人

保育室開放や一時保育つきの事業での利用者数

地域の関係団体との連携・協働



約**10,280**人

連携・協働事業の参加者数

インターンシップ、職場体験



約 **40** 人

大阪教育大学、大阪経済大学、市内小中学校、特別支援学校など

クレオ大阪 情報・図書コーナーの利用者



約 **51,690** 人

クレオ大阪の年間利用者数



約 **722,610** 人

クレオ大阪 ホームページの閲覧数



約 **579,630** 件

2025年度　事業報告

女性防災リーダーが拓く安全で安心な未来プロジェクト

防災をきっかけに女性リーダーを軸として、声を上げにくかった女性や市民一人ひとりが自分事で関わる防災へアップデートしようという本プロジェクトは、2025年も大きく前進しました。

まずは、地域防災女性ファシリテーター養成講座2025の開催により、3期生23名の修了者を輩出しました。防災のみならず、ジェンダー及び多様性の視点、リーダーシップ、ファシリテーションなどの多彩な講義に加えて、避難所開設実習や神戸のフィールドワークなどの演習を組み合わせた本格的かつ体系的な講座です。

本講座の特徴は、受講者同士の対話や学びあいを重視している点です。だからこそ講座終了後にも、同期や先輩たちと、活動で悩んだ時に相談したり、お互いの活動を応援しあう中で新たなことにも挑戦する自信と意欲が高まり、様々なコラボ企画も実現しています。フェリシモ「もっとずっときっと基金」の本プロジェクトへのご支援に感謝しながら、このコミュニティが確実にじわじわと社会に変化をもたらしていくように、これからも伴走していきます。

また、新潟で開催された「ぼうさいこくたい2025」では、内閣府男女共同参画局と共催で「広げよう！女性の防災ネットワーク」をテーマにセッションを開催しました。全国の女性防災リーダーのネットワークの広がりを体感できる機会となりました。

さらには、内閣府の「女性防災リーダーのネットワーク構築に向けた調査事業」の中で、中核となりうる団体として選定され、女性防災リーダー育成にかかる研修ハンドブックの作成に協力しました。

内閣府は、女性防災リーダーの育成団体を増やし、そのネットワークを全国的に広げようとしています。当財団はその中核的な役割を果たす団体として、今後も継続的に取り組んでまいります。



作：イラストアザインラボ

転んでも立ち上がる!その力を蓄えるリーダーシップゼミ始動



私たちは、誰もがリーダーシップを発揮できると考えています。しかし、受援力が大事なことを理解していても一人で頑張っていたり、取捨選択や決断がなかなかできないともがく女性のリーダーの方たちを多くみてきました。そこで、2025年度にゼミという少人数構成により、リーダーシップとレジリエンスについて、自分の強みに気づくだけでなく、弱さもさらけ出してオープンマインドで励ましあえる仲間と出会い・学びあう場を新たにつくりました。

7名の修了者のその後は、大学院への入学、認定NPO法人の設立、移住の決断など、様々なターニングポイントを主体的に歩み始めています。転んでも何度でも立ち上がる、その力を蓄えられたように思います。同期の仲間同士の励ましあう関係性がその背景にはあります。2026年度も大きく前進するも良し、しばし立ち止まるのもまた良し、その歩みを応援していきます。



戦後80年　平和のために女性の声を今こそ



日本が戦後80年を迎えた2025年。財団が事務局運営をしている国連ウィメン日本協会大阪では、平和をテーマに同会長の三輪敦子さんと朝日新聞大阪本社社会部記者の花房吾早子さんによるトークセッションを行いました。

花房さんは記者としての取材経験をもとに、「女性や若者の声を、核廃絶の現場に届けたい」と活動する団体など、国内外の平和運動などを紹介しました。

三輪さんは、戦争がない状態である「消極的平和」、暴力や差別がない状態の「積極的平和」の概念を紹介しました。これは、ノルウェーの平和学者ヨハン・ガルトゥングによる定義です。この積極的平和とは、構造的な暴力（社会の不平等、貧困、抑圧、差別など）や文化的暴力（偏見、差別を正当化する思想）が存在しない状態を意味しています。

世界では向かい風も吹く中で、積極的平和をどのように追求していくのか。一人ひとりが身近な暴力や差別についてその経験を語り、Noの声を上げて、「非暴力のカルチャー」を創っていく必要性を改めて共有する機会となりました。

Women Empowerment Summit 2025
～私たちの新しい成長のカタチ：いのちを活かす社会をつくる～

大阪・関西万博の場において、女性のエンパワーメントを通じた新しい成長のカタチを模索・創造・実践し、世界に向けて発信することを目標に、吉田晴乃記念実行委員会（略称：HYMEC）との共催でイベントを行いました。

HYMECと財団のご縁は、2019年に大阪で開催されたG20首脳会議にさかのぼります。G20の場で首脳たちに女性に関する政策提言を行う市民組織「W20」運営委員会と私たち財団との交流が生まれ、G20をきっかけに生まれた女性の声を届ける熱を2025年大阪・関西万博のときまで伝えよう、という想いのもと、6年にわたり地道に学びと交流の場をつないでいきました。その集大成ともいえる大阪・関西万博ウーマンズパビリオンで開催されたのが「Women Empowerment Summit 2025」です。メインスピーカーに、NHK「コロンビア白熱教室」でも話題になった『選択の科学』の著者で、世界的心理学者のシーナ・アイエンガーさんを招いた講演のほか、国内からの豪華ゲストによるパネルディスカッションと参加者を交えたワークショップを行いました。

当日は現地・オンラインともに大盛況で、想いを同じくする人たちの交流の場ともなり、3時間があっという間に過ぎました。まさに、地域を超えたつながりと「共創」の機会になりました。

万博の先にどのような社会をめざすのか、ジェンダー平等の視点からよりよい未来の実現にむけて、これからもさまざまな方々との「共創」を進めていこうと思います。



「行動の輪」を～女性みらいミーティング2026～

ジェンダー平等や地域活性、経済成長に向けて、新しい成長のカタチを創る仲間に出会い、その「行動の輪」につながる気づきや交流の機会として実施しました。

基調講演では、大阪大学ダイバーシティ&インクルージョンセンター　副センター長の西岡英子さんを迎え、「万博から女性のミライへ」をテーマに万博というプラットフォームを通じて、様々な共創の取組についてご講演いただきました。その後、大阪・関西万博で多種多様なイベントを開催された方々より、ワンポイントで事例のご紹介もいただきました。

第二部のグループに分かれた交流の時間では、「アフター万博と大阪・関西の女性の未来」をテーマにあちらこちらで話が盛り上がりました。皆様とのコミュニケーションを深める場となり、たくさんの方にご支援いただいていることを改めて実感しました。



皆様のご期待に沿えるよう、ジェンダー平等、地域活性などに向けて、これからも皆様と一緒に語り合い、次のステップにつながる気づきやエンパワメントの機会を提供していくことを改めて決意する機会となりました。

第3回 いいね!#ジェンダー平等フォトメッセージコンテスト

「いいね！#ジェンダー平等フォトメッセージコンテスト」は「いいね！」と言いたくなる、メッセージ性のある写真とハッシュタグやエピソードコメントを通じて市民の方々が多彩なアイデアや価値観に触れる機会をめざし、開催いたしました。

今年度は「子育て部門」に38作品、「万博部門」に91作品、計129作品のご応募がありました。選考の結果、パパと子どもが一緒に楽しむ瞬間の素敵な作品などが選ばれました。

また、SNS等を通じて行った一般投票では、計2,321件の投票をいただきました。非常に多くの方からのご応募・ご投票をいただき、盛り上げていただきました。

ご応募・ご投票いただいたみなさん、ありがとうございました！

＼入賞作品の一部をご紹介！／





入賞作品
一覧は
コチラ▼



メンバーシップ制度 登録募集中!

事業への参画やアイデアの具現化など、サスティナブルでわくわくする未来を私たちと一緒につくっていくメンバーを募集します！

メンバーシップ登録フォーム▼

メンバーシップ制度（コミュニティ）

メンバー

財団の活動に関心がある方
ジェンダー平等、男女共同参画の推進をそれぞれの立場から応援したい方

↓ 参画する／協働する

女性リーダー育成

▶リーダーシップゼミ
▶地域防災女性ファシリテーター養成講座

仲間との学び合いにより、今より一段階上のリーダーシップを発揮し、みずからの成長につなげるエンパワメントプログラムを実施します。

交流する

▶テーマ交流会
▶活動報告会
▶メルマガ発行

メンバー同士を励まし合う良質なコミュニティにより、視座を広げるネットワークと共創が生まれる場を定期的に開催します。

顕彰事業（検討中）

▶女性のチャレンジに関する顕彰

チャレンジする女性を応援し合える仕組みをつくります。

Work support PLUS
ワークサポートプラス

従業員満足を高め、
組織を活性化するために
必要なサービスを 必要な分だけ

組織・職場の課題
☑ダイバーシティ推進
☑ハラスメント防止
☑コンプライアンス
☑人材育成
☑各種両立支援

働く人の課題
☑子育て・介護との両立
☑人間関係
☑働き方・キャリア
☑メンタルヘルス

Work support PLUS
社内研修
社外相談窓口
女性活躍推進プロジェクト支援
SDGs推進のプロジェクト支援 等

組織活性
人財活性
働きがい
ダイバーシティ経営







ワークサポートプラスは、従業員の皆さまが健康で安心して働ける環境を整備することで、従業員満足（ES）を高め、離職防止や生産性向上につなげる包括的なサービスです。
それぞれの企業のご要望に応じたプランをオーダーメイドで提供します。料金はプラン内容によって異なります。まずはお気軽にお問合せください。

大阪男女いきいき財団 NEWS
発行 一般財団法人大阪男女いきいき財団
〒543-0002 大阪市天王寺区上汐5-6-25 クレオ大阪中央内
TEL：06-7656-9040 FAX：06-7656-9045 https://www.danjo.osaka.jp/

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 5 ジェンダー平等を実現しよう